

2027年サービス開始予定

水中ドローン 船舶点検 操縦士

専門
スキル

基本ライセンス取得後は、船舶点検の知識と実践のスキルを習得できる新しい応用技能を。

基本ライセンス

水中ドローン 安全潜航操縦士

日本水中ドローン協会が策定する、水中ドローンを安全に運用するための基礎ライセンス講習です。日本全国の認定スクールで受講することができ、水中ドローンを活用して事業を行う方を中心に、**累計2,000名以上が修了**しています。基礎知識と基本技術の習得を通じて、水中ドローン活用の出発点となる人材を育成します。



応用技能として

応用ライセンス

本ライセンスについて

「水中ドローン船舶点検操縦士」は、日本水中ドローン協会策定ライセンス「水中ドローン安全潜航操縦士」取得者向けの応用技能講習です。基礎の上に、**船舶点検の知識と実践スキルの習得**を目指し、船舶点検の新たな手法として運用人材を増やします。



一般社団法人
日本水中ドローン協会
Japan Underwater Drone Association



KEW

株式
会社

國

森

KUNIMORI ENGINEERING WORKS CO., LTD.

新
ライ
セン
ス
始
動



2027年初旬 / ライセンス講習開始予定

講習時期等、順次発表してまいります



なぜ、水中ドローンによる船舶点検の 操縦技能が必要なのか

船底や付属構造物の状態把握は安全運航・維持管理に必須。一方、潜水や入渠依存は時間・費用・安全面の負担が大きい課題があります。水中ドローンは可視化・記録に有効。ただし現場では船底構造の理解、安全管理、撮影・記録・報告まで含む実務対応の操縦技能が求められます。

「水中ドローン船舶点検操縦士」は、現場実務に必要な能力を体系的に学ぶための新ライセンスを目的として策定します

船舶点検の必要性

付着物・損傷・変形・詰まり等を早期把握し、適切な保守へつなげることは安全運航と計画的な維持管理に直結。点検の「質と効率」の両立が重要です。

水中ドローン点検のメリット



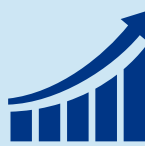
安全性の向上

危険作業の負担を軽減し、安全に状況把握を実施。



効率化

短時間で確認・記録。点検・保守の効率向上に寄与。



省力化

小型ROVの普及で、フットワーク軽く点検頻度の向上



記録性・再確認性

映像・静止画で比較・共有が容易になり品質を担保。

海運業界の今後と 求められる人材

効率化・安全性向上・技術継承への対応が加速。必要箇所を的確に観察・記録できる運用者の重要性が高まっています。「操縦ができる」だけでなく、実務に即した点検が行える技能者が必要です。

ライセンス・カリキュラム構築団体



一般社団法人
日本水中ドローン協会
Japan Underwater Drone Association



株式
会社



KUNIMORI ENGINEERING WORKS CO., LTD.



水中ドローンの安全運用技術者の育成と利活用促進を行う団体。

認定講習や全国の認定スクールを通じて普及と安全運用を推進するとともに、活用分野の拡大や業界発展に向けた情報発信、人材育成の仕組みづくりに取り組んでいます。

1966年設立、神戸に拠点を置く船舶用部品の専門商社。船舶の安全運航を支える部品供給とエンジニアリングサービスにより、海事業界で経験と信頼を重ねてきました。近年はドローン活用にも取り組み、水中ドローンの活用提案、販売、サポートを進めており、本ライセンスでは船舶点検の実務的視点からカリキュラムへ反映します。

問い合わせ先

一般社団法人 日本水中ドローン協会

〒110-0005東京都台東区上野1-20-1-5F

TEL:03-5812-4367

Mail:info@japan-underwaterdrone.com

詳しくは
こちら

